

平成二十八年度版 デジタル教科書のご案内

— 新たな学びの可能性をサポート —

コンテンツと機能を充実

平成二十八年度版のデジタル教科書は、教科書の全ての教材を収録した完全準拠のソフトウェアです。

これまで全国でお使いいただいている「指導者用デジタル教科書」に加え、新版からは「学習者用デジタル教科書」の開発も進めています。

新しいデジタル教科書は、これまでご好評いただいている操作のしやすさに加え、先生や生徒によって、より使いやすく編集できるカスタマイズ機能を加え、新たな学びの可能性をご提案します。



◀指導者用デジタル教科書は、生徒の思考を教室全体で共有することができ、授業が活性化します。



▲学習者用デジタル教科書は、協働学習の場で生徒のコミュニケーションや思考をサポート。アクティブ・ラーニングのための力強いツールとなります。



指導者用デジタル教科書

「見える」授業で国語力アップ

クラス全員が同じ画面を見ながら授業が行えるので、教室に一体感が生まれます。また、本文や挿絵、写真を焦点化して表示できるので、学習のねらいが明確になり、生徒の集中力が高まります。

豊富な資料で理解が深まる

文学作品の背景、説明的文章の資料、話し合いの様子など、教材に即した映像、音声、写真等の資料を多数収録しています。生徒の興味・関心を高めたり、理解を深めたりすることができます。

シンプルな操作性

画面への書き込みや紙面拡大など、操作がシンプルでわかりやすく、パソコンに慣れていなくても直感的に使いこなせます。

学習者用デジタル教科書

一人一台の端末で多様な学び

学習者用デジタル教科書は、教科書の紙面や教材に関連した資料、ワーク等のコンテンツが一体となったものです。

指導者用デジタル教科書との連携や、教室での個別学習、グループで思考や表現を共有する協働学習、家庭学習など、さまざまなシーンで活用できます。

課題解決学習のツールとして

本文や画像の取り込み、試行錯誤の過程がたどれる学習履歴の保存など、デジタルならではの機能を生かした課題解決的な学習が可能になります。

こうした機能は、今後いっそう求められる生徒の主体的な学びを育てていくために、大きな役割を果たすと考えています。

これからのデジタル教科書

CoNETS の取り組み



これまで、デジタル教科書の操作性は、教科や教科書会社によって異なっていました。それを統一し、さまざまな端末で使えるマルチプラットフォームを開発するために、光村図書を含む教科書会社12社と株式会社日立ソリューションズからなるコンソーシアム「CoNETS（コネッツ）」が発足しました。

なお、CoNETSが開発するプラットフォームは、電子書籍の国際規格（EPUB3）に準拠しており、平成28年度版のデジタル教科書では以下のような特長が実現します。

- 1 教科を問わずひとつの仕組みで動作
- 2 オリジナルの教材が作成可能に
- 3 学習記録をデータで保存
- 4 学年・教科を超えた連携が可能に
- 5 ネットワークで先生と生徒の端末がつながる

CoNETSは、教科書づくりで培ったノウハウで、デジタル教科書の新たな可能性を形にし、これからも子どもたちの学びと教育現場をサポートしていきます。

CoNETSのウェブサイト www.conets.jp

▼指導者用デジタル教科書 画面イメージ

